

【1 分解説】蓄電池とは？

総合調査部 副主任研究員 牧之内 芽衣

蓄電池とは、電気エネルギーを貯蔵できるもの（電池）のうち、充電することにより繰り返し使用可能なものをいいます。コストや特性、性能などの観点から、車載用や電力貯蔵用など様々な種類に分かれており、万能な蓄電池は現在のところ存在しません。

天候が悪いと発電効率が落ちる太陽光発電のように、気象条件による出力の変動がある再生可能エネルギー（再エネ）の導入量拡大にしたがって、系統用蓄電池への期待が高まっています。系統用蓄電池とは、電力系統（送配電網）に接続し、電力需給バランスを調整する役割のある蓄電池です。電力料金の削減や自家発電の余剰電力貯蓄、災害時の非常用電源を目的とした、家庭用や産業用の蓄電池とは区別されます。

政府は2022年5月に公布した「経済安全保障推進法」に基づいて安定供給を図る「特定重要物資」に蓄電池を特定しました。2024年3月には「インド太平洋経済枠組み（IPEF）」の閣僚会合が開かれ、参加国は2030年までに蓄電池分野で少なくとも1,200億ドルを投資する目標が明記されました。2050年カーボンニュートラルを見据えた再エネの更なる導入拡大に向けて、今後も蓄電池の重要性は一層増していくと考えられます。

関連レポート

- ・「第7次エネルギー基本計画に求めること ～政府はコスト意識の醸成や原子力スタンスの明確化を～」(2024年12月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/391997.html>
- ・「【1 分解説】出力抑制・出力制御とは？」(2023年6月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/253590.html>